

レジ袋削減に向けた取組みに関する協定

マックスバリュ北海道株式会社と、協定参加市民団体（以下、市民団体という）及び札幌市は、循環型社会の実現と地域環境の保全を図ることを目的として、レジ袋の使用削減及びマイバッグの持参率の向上を図る取組みを協働して推進します。

- 1 マックスバリュ北海道株式会社は、札幌市内36店舗で、マイバッグ等の持参率を80%以上とすることを目標として、平成20年10月1日から食品レジ袋の無料配布を行わず、1枚5円（税込）で販売し、その削減に取り組めます。
- 2 マックスバリュ北海道株式会社は、上記店舗で販売したレジ袋の販売収益を環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を公表いたします。
- 3 マックスバリュ北海道株式会社は、上記店舗のレジ袋の削減を図る活動状況及び目標数値を公表します。
- 4 市民団体は、マイバッグ等の持参によるレジ袋の削減を市民に呼びかけ、行動を拡大します。また、マックスバリュ北海道株式会社における食品レジ袋の無料配布中止によるレジ袋削減の取組みを積極的に支援します。
- 5 マックスバリュ北海道株式会社及び札幌市は、上記店舗におけるレジ袋削減の活動について、協議のうえ、連携しながら効果的なPRを行います。
- 6 札幌市は、この協定の取組みを通して、循環型社会の実現と地域環境の保全を図る取組みをより一層推進します。
- 7 この協定に疑義が生じたときは、当事者で別途協議し、定めることとします。

平成20年9月3日

マックスバリュ北海道株式会社
代表取締役社長 松長 正三



【市民団体】

NPO 法人 環境り・ふれんず
代表理事 浅田 琉璃子



循環ネットワーク北海道
代表 神山 桂一



社団法人札幌消費者協会
会長 渋谷 絢子



札幌友の会
総リーダー 深澤 美佐子



札幌第二友の会
総リーダー 桂島 礼子



札幌第三友の会
総リーダー 佐藤 由紀代



NPO 法人 日本リサイクルネットワーク
代表 小玉 豊治



札幌市
市長 上田 文雄

